

三浦綾子文学講演会

塩狩峠

し
お
か
り
と
う
げ



講師 森下 辰衛 先生

もりした たつえ

“～アホウになって生きる幸せ～”

～三浦綾子『塩狩峠』

『塩狩峠』明治42（1909）年2月、雪の塩狩峠で連結がはずれ、恐れ惑う乗客を乗せて逆走を始めた客車。乗り合わせていた永野信夫は愛する人への思いを胸に自らの身をもって客車を止め、乗客を救う。実在の国鉄職員の人生を元に、人はいかに生きるべきかを問い、犠牲の愛を描いた三浦文学の最高傑作。モデルで実在の人物長野政雄の実像や、多くの人を励まして来たこのドラマの核心のメッセージを、楽しく分かりやすく、そして深くお話しします。

2025年 7月19日（土）

13:30～15:00

（13:00より開場）

参加費：自由献金

会場：松阪コミュニティチャーチ

〒515-0831

松阪市岡本町430 ☎ 0598-22-2947

主催 松阪三浦綾子読書会

お問い合わせ先 shumaimai725@gmail.com

森下辰衛（もりしたたつえ）先生

1962年岡山県生まれ。1992年から2006年3月まで福岡女学院短大および大学で日本の近代文学やキリスト教文学などを講義。2001年より九州各地で三浦綾子読書会を主宰、2011年秋より同代表。2006年、家族とともに『氷点』の舞台旭川市神楽に移住し、三浦綾子記念文学館特別研究員となる。2007年、教授の椅子を捨て大学を退職して以来、研究と共に日本中を駆け回りながら三浦綾子の心を伝える講演、読書会活動を行なっている。

著書に『「氷点」解凍』（小学館）、『塩狩峠』の続編小説『雪柳』（私家版）、『あらすじで読む三浦綾子 名著36選』編著監修に『三浦綾子366のことば』『水野源三精選詩集』（いずれも日本キリスト教団出版局）がある。NHKラジオ深夜便明日への言葉、テレビライフラインなどに出演。

Google マップ
地図 QRコード



お問い合わせ先
メールアドレス QRコード

